



■同時発表先：合同庁舎記者クラブ 鳥取県政記者会 島根県政記者会 岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ 山口県政記者会 山口県政記者クラブ
山口県政滝町記者クラブ 中国地方建設記者クラブ

令和2年度都市景観大賞『優秀賞』受賞 ～『都市空間部門』受賞5地区中、3地区が中国地方から～

令和2年度都市景観大賞の都市空間部門において、中国地方から「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観（国選定重要文化的景観）」、「尾道市景観地区（尾道・向島歴史的風致地区）」、「徳山駅周辺地区」の3地区が『優秀賞』を受賞しました。
『都市空間部門』受賞5地区中、3地区が中国地方から選定されています。



- 受賞地区
奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観
（国選定重要文化的景観）
（島根県仁多郡奥出雲町）
- 受賞者
奥出雲町、奥出雲町教育委員会、奥出雲町農業遺産推進協議会、奥出雲町文化体験実行委員会、公益財団法人可部屋集成館、公益財団法人糸原記念館、一般社団法人奥出雲地域活性化プロジェクト、大原新田棚田保安全管理委員会

- 受賞地区
尾道市景観地区
（尾道・向島歴史的風致地区）
（広島県尾道市）
- 受賞者
尾道市

- 受賞地区
徳山駅周辺地区
（山口県周南市）
- 受賞者
周南市、周南市中心市街地活性化協議会、山口県建築士会徳山支部

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231（代表）（平日・昼間）

【担当】建政部 計画・建設産業課長 牧野 健二（内線 6121）
建政部 計画・建設産業課長補佐 錦織 務（内線 6123）

【広報担当窓口】広報広聴対策官 加藤 浩士（内線 2117）
企画部 環境調整官 後藤 寿久（内線 3114）

令和2年度 都市景観大賞

1. 都市景観大賞とは

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対して表彰し、更なる取組みの契機としていただくとともに、全国に広く紹介し良好な景観の形成が進んでいくことを目的としています。

2. 都市景観大賞の表彰部門について

現在、都市景観大賞では以下の2部門により募集・審査が実施されています。

- 公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象にした『都市空間部門』
- 景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の良好な景観形成等への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象にした『景観まちづくり活動・教育部門』

「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観（国選定重要文化的景観）」、「尾道市景観地区（尾道・向島歴史的風致地区）」、「徳山駅周辺地区」はいずれも『都市空間部門』における受賞となります。

※ 受賞地区の概要等は別添をご参照ください。

3. 参考資料

- 別紙1 令和2年度 受賞地区一覧（全国分）
- 別紙2 中国地方における過去の受賞履歴
- 参考 令和2年度 都市景観大賞募集内容

優秀賞 「都市景観の日」 実行委員会 会長賞

奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観 (国選定重要文化的景観)

所在地 島根県仁多郡奥出雲町

地区面積 約 1563.3ha

応募者

奥出雲町、奥出雲町教育委員会、奥出雲町農業遺産推進協議会、奥出雲町文化体験実行委員会、公益財団法人可部屋集成館、公益財団法人糸原記念館、一般社団法人奥出雲地域活性化プロジェクト、大原新田棚田保全管理委員会

地区概要

奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観は、主に近世から近代にかけて形成された、たたら製鉄の旧経営者の住居や庭園、たたら製鉄の遺構や現役で稼働するたたら製鉄の施設、たたら製鉄の原料である砂鉄を採取するための設備と砂鉄鉱山の跡地を再生した棚田などの要素を中心とした景観である。

地区内には、国指定重要文化財、国指定名勝、国登録有形文化財、国登録記念物などの文化財が多数あり、歴史的な景観を形成している。

地区内の全域が中山間地域に位置し、過疎化や高齢化が進んでいるが、研究機関と連携した調査によって景観が持つ地域資源としての価値が広く認識されたことから、住民の手により、景観のビューポイントへの展望台の設置や棚田のライトアップ、歴史的建造物をリノベーションした飲食店の開設などのほか、地区の小学生に対して、棚田の由来となった砂鉄採取の歴史を伝える体験事業など、様々な地域づくり事業が展開されるようになり、見学者も訪れるようになってきている。

審査講評

重要文化的景観の指定を受ける一方、この地区は広大かつ多くが棚田等の自然物であることから、「公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている」とされる都市景観大賞の対象となりうるか、が審査のポイントとなった。広大な現地を長い時間にわたり熱心に紹介される中で、「景観」を単なる姿形の追求、または町民活動の目的等から一歩進め、地域資源であるたたら製鉄と鉄穴流し跡地の棚田を活かし、維持することで、これらが地域意識の醸成につながり、町民の街づくり活動を誘発しているものと理解できた。ここでは、文化的景観指定という道具を地域振興の契機として利用し、町民意識の高まりを「景観」という言葉で代表させることで、地域活性化活動の柱にしている。合わせて地域産業が長年にわたり生み出した自然景観の保全を図るものであり、景観形成に関する取り組みとして、社会の進歩を感じさせられる事例と言え、これらを高く評価したものである。(高見)



追谷集落は、出雲神話舞台の地、船通山の懐に位置する。かつて、たたら製鉄の経営者であったト蔵家が本拠を置いた集落であり、周囲には砂鉄採取跡地を再生した棚田が広がる。



たたら製鉄関連の施設の再利用・修景により、地域に根付いた建物を風景の一つとして活用している。この施設は、農事組合法人が農泊として活動の中心的施設とするとともに、外からの人を呼び混んでいる。組合の存在は棚田の良好な維持に重要な役割を果たしている。



三沢集落にある古い商家を町が中心となって改造した「みらいと奥出雲」。地域コミュニティの活動の場が街に開かれ新たな活力を生み出している。また内部の貸しオフィス区画は満室である。



砂鉄採取跡地を再生した棚田の大きな特徴として、砂鉄を採取するため大地を削る際に、祠や墓地、ご神木などの重要な場所を削らずに残したため小山のようになった「鉄穴残丘」があり、奥出雲の景観をユニークなものとしている。

優秀賞 「都市景観の日」 実行委員会 会長賞

尾道市景観地区（尾道・向島歴史的風致地区）

所在地 広島県尾道市

地区面積 約 200ha

応募者 尾道市

地区概要

本地区は、港町・商都として発展し、豪商により多くの寺社仏閣が寄進造られた。現在においても、旧家、路地の家並みなど地域特有のまちなみが色濃く残る斜面市街地、商店街には多くの歴史的建造物が点在している。

対岸の向島は、情緒ある渡船が行き交う尾道水道を形成する地域であり、現在は瀬戸内しまなみ海道へ向かう多くのサイクリストで賑わいが生まれている。

日本遺産にも認定されたこの地区は、国内外の多くの観光客が訪れる本市を代表する景観地区を形成し、近年では、空き家再生の取組、移住者、若い世代によるエリアリノベーションの取組により、まちなみ、歴史・文化資源を活かした地域再生の流れが活発化されている。

港エリアの開発や尾道駅のリニューアル等の追い風の中、瀬戸内しまなみ海道の玄関口にふさわしい景観を形成するため、海辺のプロムナードを軸として、舗装整備された小路など、既存の歩行者空間の回遊性を高めるとともに、当地区の代表的な観光スポットである千光寺公園の頂上エリアのリニューアルを進め、新たな視点場整備と連携した歩行者空間の創出等により、一層の魅力向上に取り組んでいる。

審査講評

天与の地形、地の利の上に刻まれた人々の暮らしは変化しながらも続き、今のまちがある。そう考えた時に、「視線の抜け」と「時の蓄積」、この二つが尾道のまちづくりを支える価値として共有されてきたように感じた。展望台とされた場所からの眺めはもちろん、急な上り下りで足元に縛られた目線が解放された時、密集した建物のあわい、駅に降り立った瞬間、視線は抜けてその先にある海、空、山が見える。この感覚が、私は今尾道にいる、という安心と幸せとなる。2度にわたるマンション開発を市民の力が押し留めたことはその証左であり、それを引き継いで景観法による景観地区指定による建物高さ制限や、屋上看板の撤去が進む。これらまちの骨格を整える方策とともに、随所に残る時の蓄積としての歴史的建物、小道の保全と活用がきめ細かく進む。民間の力が発揮される場面である。メニューとしてみれば特段新しくはない。しかしそれらを今、ここでできることとして積み重ねてきた。その成果は尾道の景観に確実に現れている。願わくば、多くの市民に支えられてきたこの景観まちづくりの意思と成果を明示的に記述し、価値の継承と今後の戦略をより確かなものとして欲しい。(佐々木)



向島から見た尾道市街地の山手斜面地



尾道駅前の緑地広場ウッドデッキ整備



浄土寺山からの夕景



尾道旧家路地

優秀賞 「都市景観の日」 実行委員会 会長賞

徳山駅周辺地区

所在地 山口県周南市

地区面積 約 150ha

応募者 周南市、周南市中心市街地活性化協議会、山口県建築士会徳山支部

地区概要

当地区は、周南市の中心市街地に位置し、整備前は、郊外への大型店の進出や、消費者ニーズの多様化等により、商店街の空洞化が進行していた。その後、新しい賑わいの拠点として、新駅ビルを整備することとなり、徳山駅前賑わい交流施設が開館した。

徳山駅前賑わい交流施設は、徳山駅と直結し、北口駅前広場と共に統一したデザインで構成されている。北口駅前広場からつながる御幸通、岐山通は、戦後の復興時に多くの市民の協力のもと行われた土地区画整理事業により造られ、これまで約 70 年間に渡り、緑豊かな公共空間として市民に親しまれてきた。

新しい賑わいのある空間と、市民に長年愛されてきた空間が合わさり、市の玄関口として相応しい都市景観を形成している。これらの空間を活用して、市民協働による多彩なイベントにより賑わいが創出され、清掃、マナーアップ活動により、景観の保全と共に、市民の街への誇りと愛着を深めること、周辺地域を含めた活性化にもつながっている。

今後も官民が協力し、より一層市民に愛される都市空間へと育てていく。

審査講評

戦災により甚大な被害を受けた街はその後の土地区画整理事業によって復興を遂げ、現在の骨格となる街並みを形成してきた。当地区は駅、目抜き通り、商業地区を中心に街の発展を担ってきたが、郊外型大型店の進出などにより空洞化し求心力を失っていた。この状況に取り組むため官と民が横断的に支援、提案、助言など積極的な交流を行ってきた。市は駅の南北自由通路、賑わい交流施設、駅前広場の事業を推進。クオリティの高い中心施設を整備し緑豊かな都市軸とその一帯の景観的連携を実現した。県内で初めて景観整備機構に指定された建築士会は守る、育てる、楽しむをキーワードに景観の保全、色彩のルール、街のアクティビティなどについて提言を続けてきた。中心市街地活性化協議会はマルシェ、クリーンプロジェクト、マナーアップなどに長年取り組んできた。地区の中核を成す賑わい交流施設と駅前広場は巧みに連携したデザインで高い水準にあり、年間 200 万人の来場、280 回に及ぶイベント開催につながっている。このように新旧の施設と継続的な活動が景観形成に大いに貢献していると評価され今回の受賞につながった。(富田)



徳山駅前賑わい交流施設（写真中央）と前面に広がる北口駅前広場



徳山駅前賑わい交流施設から北口駅前広場（写真下）、御幸通（写真中央）を望む



御幸通から市役所方面を望む
豊かな街路樹が四季折々の姿を見せる



夜のライトアップ
電気は全てコンビナート電力を活用している

都市空間部門 受賞地区一覧

大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
南町田グランベリーパーク地区 (東京都町田市)	約 20ha	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市 ・東急株式会社 ・東急電鉄株式会社 ・株式会社東急レクリエーション ・株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ ・株式会社東急設計コンサルタント ・LAGUARDA.LOW ARCHITECTS ・Fd Landscape ・ティーハウス建築設計事務所 ・株式会社森緑地設計事務所 ・株式会社レジファインクリエイト

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
奥出雲たたら製鉄 及び棚田の文化的景観 (国選定重要文化的景観) (島根県仁多郡奥出雲町)	約 1563.3ha	<ul style="list-style-type: none"> ・奥出雲町 ・奥出雲町教育委員会 ・奥出雲町農業遺産推進協議会 ・奥出雲町文化体験実行委員会 ・公益財団法人可部屋集成館 ・公益財団法人絲原記念館 ・一般社団法人奥出雲地域活性化プロジェクト ・大原新田棚田保全管理委員会
尾道市景観地区 (尾道・向島歴史的風致地区) (広島県尾道市)	約 200ha	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市
徳山駅周辺地区 (山口県周南市)	約 150ha	<ul style="list-style-type: none"> ・周南市 ・周南市中心市街地活性化協議会 ・山口県建築士会徳山支部
北大東島の燐鉱山由来の 文化的景観地区 (沖縄県島尻郡北大東村)	約 160ha	<ul style="list-style-type: none"> ・北大東村 ・北大東村教育委員会 ・中部大学都市デザイン研究室 ・株式会社国建 ・株式会社与儀組 ・うふあがり島景観協議会

景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動エリア	応募者
北斎通りまちづくりの会の取り組む 景観まちづくり活動	東京都 墨田区	・北斎通りまちづくりの会

特別賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
相模湾沿岸地域 40 余団体の 市民組織等による邸園等の利活用を 通じた保存啓発活動	神奈川県 相模湾沿岸 地域一帯 及び横浜市 戸塚区	・湘南邸園文化祭連絡協議会

優秀賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
まち歩きのユニバーサルデザイン プロジェクト黒石 2017~2019	青森県 黒石市	・青森県建築士会 南黒支部
<small>かねやままち</small> 山形県金山町の夜間景観づくり	山形県 最上郡 金山町	・山形県金山町 ・東京都市大学建築学科小林研究室

都市景観大賞 中国地方における過去の受賞履歴

(平成13年度以降)

「美しいまちなみ賞」(平成13年度～平成22年度)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成13年度	優秀賞	福山市 福山久松通り地区	・福山久松通商店街振興組合 ・広島県福山市 ・福山商工会議所
平成17年度	大賞	倉吉市 打吹地区	・打吹地区歩行ネットワークを考える会 ・鳥取県倉吉市
平成18年度	優秀賞	津和野町 環境保全地区	・津和野町まちづくり検討委員会 ・島根県津和野町
平成19年度	優秀賞	宇部市 中央町三丁目地区	・宇部中央地区再開発推進協議会 ・山口県宇部市
平成20年度	優秀賞	鳥取市 夢街道・鹿野往来城下町地区	・特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 ・鳥取県鳥取市
平成21年度	大賞	真庭市 勝山町並み保存地区	・かつやま町並み保存事業を応援する会 ・岡山県真庭市
平成22年度	大賞	倉敷市 倉敷美観地区	・倉敷伝建地区をまもり育てる会 ・特定非営利活動法人倉敷町家トラスト ・岡山県倉敷市

「都市空間部門」(平成23年度以降～)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成23年度	優秀賞	江津市域地区	・島根県江津市
	優秀賞	浜崎地区	・浜崎しつちよる会 ・山口県萩市
平成24年度	大賞	吹屋地区	・吹屋町並保存会 ・岡山県高梁市
平成25年度	大賞	城下町長府地区	・城下町長府景観協議会 ・下関市
平成27年度	優秀賞	神門通り地区	・島根県 ・出雲市 ・神門通り甍りの会
平成30年度	優秀賞	三次町歴史的街並み景観形成地区	・三次町歴みち協議会 ・三次地区自治会連合会 ・三次市

「景観教育・普及啓発部門」(平成23年度～平成27年度)

年 度	表彰内容	活 動 名	応 募 者
平成25年度	大賞	関門地区(北九州市・下関市) 景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会(下関市・北九州市)

令和2年度 都市景観大賞について

令和2年度は、下記の通り「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。

I 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1地区
- ② 優秀賞 …………… 数地区
- ③ 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路や公園等の公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になります。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

[委員長]

陣内 秀信 法政大学特任教授、中央区立郷土天文館館長

[委員]

池邊このみ 千葉大学教授

卯月 盛夫 早稲田大学教授

岸井 隆幸 (一財)計量計画研究所代表理事、日本大学特任教授

佐々木 葉 早稲田大学教授

高見 公雄 法政大学教授

田中 一雄 (株)GK デザイン機構代表取締役

富田 泰行 トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

国土交通省 都市局市街地整備課長

国土交通省 住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、令和2年3月時点)

II 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1活動
- ② 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定
- ③ 優秀賞 …………… 数活動

3. 応募対象

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰活動を選定します。

6. 審査委員

[委員長]

小澤紀美子 東京学芸大学名誉教授

[委員]

卯月 盛夫 早稲田大学教授

楚良 浄 世田谷区玉川小学校指導教諭

福井 恒明 法政大学教授

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、令和2年3月現在)

■主催：「都市景観の日」実行委員会 *下線は協賛団体も兼ねています

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、

(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、

(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、

(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、

(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <https://www.udc.or.jp>